

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》 土田 正一郎(非) 井上 誠士郎(非) 下出 崇輝(非) 白坂 知彦(非) 賀古 勇輝(非) 栗田 紹子(非) 鈴木 和

【概要】

本講義では、ソーシャルワーカーとして精神的な困難にある人の支援をする上で大切な基礎知識を学ぶ。具体的には精神医学の歴史、生物学的基礎、成因と分類、主な症状、各種検査、そして主な精神障害（不安障害、統合失調症、気分障害、パーソナリティ障害、知的障害、発達障害等）について学びを深める。

【学習目標】

社会福祉の臨床を深めるために、以下の3点について学ぶ。

1. 精神医学の歴史を知った上で現代の精神医療の現状、今後の課題を理解する。
2. 精神現象を司る脳の基本的な構造や機能を理解する。
3. 主要な精神障害の特徴や、現在行われている治療・リハビリテーションについて知る。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	代表的な精神疾患	器質性精神障害[F0]	白坂
2	代表的な精神疾患	精神作用物質使用による精神および行動の障害[F1]	白坂
3	代表的な精神疾患	統合失調症[F2]	白坂
4	代表的な精神疾患	心理的発達の障害[F8]	白坂
5	精神医学概論	精神医学、医療の歴史と現状 精神現象の生物学的基礎、こころの理解	土田
6	精神医学概論	精神医学、医療の歴史と現状 精神現象の生物学的基礎、こころの理解	土田
7	精神医学概論	精神医学、医療の歴史と現状 精神現象の生物学的基礎、こころの理解	土田
8	精神障害の理解	精神障害の概念 精神疾患の成因と分類	井上
9	精神疾患の症状と診断	精神症状と状態像 診断の手順と方法 心理的検査と身体的検査	井上
10	代表的な精神疾患	気分(感情)障害	下出
11	代表的な精神疾患	児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害[F9]	下出
12	代表的な精神疾患	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害[F4]	賀古
13	代表的な精神疾患	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群[F5]	賀古
14	代表的な精神疾患	パーソナリティ障害と行動の障害[F6]	栗田
15	代表的な精神疾患	精神遅滞(知的障害)[F7]	栗田

【評価方法】

定期試験100%

【備考】

教科書：新・精神保健福祉士養成講座編『1 精神疾患とその治療』第2版(2016)中央法規

参考書：授業で紹介する。

その他 : この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神疾患とその治療」に該当する。

【学習の準備】

- ・精神障害について、常日頃から広く興味関心を持ち、教科書や参考書、図書館の関係資料（新聞や雑誌、画像）を講義前、講義後に見ておくことが望まれる。
- ・予習は、次回の授業範囲の教科書を読んで、理解しておくこと（80分）。
- ・復習は、教科書、プリントなどを活用し、学習を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3

【実務経験】

土田 正一郎（医師） 井上 誠士郎（医師） 下出 崇輝（医師） 白坂 知彦（医師） 賀古 勇輝（医師） 栗田 紹子（医師）

【実務経験を活かした教育内容】

医師としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。